

学校だより



特別号

E-mail: svoran-s@edu.city.kyoto.jp

平成31年3月14日

京都市立翔鸞小学校

校長 谷口 寿一

Tel:075-462-0084

Fax:075-462-0086

第2回学校評価へのご協力、ありがとうございました

梅苑の梅の花もきれいに咲いています。春が近づいてきました。

平素は本校教育にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。また、12月末にはお忙しい中、2回目の学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。前回にご紹介した項目について今回も掲載し、ご一緒に考えていきたいと思います。多くの皆様からのご意見を大切にし、今年度の取組のまとめと来年度への課題を明らかにして、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願ひします。

<確かな学力>

評価項目		児童(%)		保護者(%)	
		よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、人の話を聞くこと	第1回	57.4	38.6	18.9	65.0
	第2回	49.8	45.3	23.8	66.5
子どもが分かりやすい授業であること	第1回	60.4	33.2	35.0	56.1
	第2回	54.7	42.9	33.5	55.7
子どもが、自分の思いや考えを書いたり話したりすること	第1回	40.9	35.6	15.0	58.9
	第2回	42.9	37.9	18.9	53.0
子どもが、1か月に5冊以上本を読むこと	第1回	67.3	15.8	16.7	30.0
	第2回	54.7	19.7	18.9	22.2
子どもが、毎日家で勉強すること (15分×学年)	第1回	54.0	24.3	22.2	40.0
	第2回	52.2	21.2	23.2	40.0

◆考察と改善策

- 全般的に第1回目と第2回目で大きな変化はありませんが、「自分の思いや考えを書いたり話したりできる」と思っている児童が、少しではありますが増えたのはうれしいことです。自分の思いや考えをきちんと相手に伝えるのは、とても大切な力です。今後も、最後まで自分で話し切ることや、使える言葉を増やして豊かに表現できるような指導を続けていきます。
- 読書習慣については、毎朝の「ぐんぐん読書」を継続してきたことで、どのクラスも定着してきました。テストが速く終わった時や給食の用意を待っている間など、少しの時間でも読もうとする姿が見られます。ただ、読書ノートにきちんと記録をしていなかったり、読書の幅が狭かったりするという課題はあります。また、長編小説を読むので、なかなか冊数が進まないこともあります。児童の実態を把握して、それぞれの児童に応じた声かけをしていく必要があります。それと同時に、学校司書とも連携をして、児童が読書に興味を持つような取組をさらに進めていきたいと思います。
- 家庭学習については、どのクラスも宿題や自主学習ノートの提出はできています。しかし、高学年では、「15分×学年」という時間設定に少し無理があったかもしれません。宿題だけでなく、塾なども含めた学習時間ととらえてはいるのですが、放課後の部活動や習い事などの時間を考えると、毎日続けられないという児童がいるかと考えられます。今後、項目の設定の仕方を検討する必要があるかもしれません。

<豊かな心>

評価項目		児童(%)		保護者(%)	
		よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、進んであいさつをすること	第1回	79.7	15.8	24.4	58.3
	第2回	77.8	20.7	33.0	50.3
子どもが、自分も友達も大切にすること	第1回	70.3	28.2	31.1	59.4
	第2回	77.8	20.7	33.5	62.2

子どもが、学校で楽しく過ごすこと	第1回	74.3	18.3	48.3	43.9
	第2回	76.4	20.2	51.9	45.9
子どもが、きまりや約束を守ること	第1回	57.4	37.1	21.7	62.8
	第2回	55.7	39.4	21.1	66.5

◆考察と改善策

- どの項目も、概ねできていると評価されています。ただ、少数ではあっても、「自分や友達を大事にする」「学校で楽しく過ごす」ということができていない児童がいるので、その子の思いを聞き、受けとめて、しっかり対応していきたいと思います。
- 「きまりや約束を守ること」については、概ねできてはいるのですが、まだ校内の走ってはいけない所（廊下や本館玄関周り、藤棚の辺り、渡り廊下等）を走っていることがあります。また、持ち物が揃わなかったり、授業中の各クラスでの約束が守れていなかったりすることもあります。なぜこの約束があるのかということをきちんと理解し、自分で考えて行動できるように、今後も続けて指導をしていきます。



<健やかな体・学校独自の取組>

評価項目	児童(%)		保護者(%)		
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている	
子どもが、毎日朝食を食べること	第1回	89.6	8.9	66.1	30.0
	第2回	89.2	6.4	69.7	25.9
子どもが、早寝・早起きをすること (10時までに寝て、7時までに起きる)	第1回	38.1	35.6	29.4	38.3
	第2回	38.1	35.6	31.4	36.8
子どもが、安全に気をつけて登下校すること	第1回	83.2	15.3	44.4	53.3
	第2回	81.3	17.2	47.6	48.6
進んで体を動かすこと	第1回	60.4	29.2	42.8	40.0
	第2回	61.1	24.6	39.5	44.3
学校が、保護者や地域の方々と力を合わせ、子どもの安全を見守ること	第1回			53.3	39.6
	第2回			51.9	44.3
学校の行事が、子どもの成長にとって有意義であること	第1回			45.6	51.7
	第2回			43.2	53.0

◆考察と改善策

- 朝食を毎日食べて登校している児童が多いです。きちんと用意をしていただいていること、大変ありがとうございます。朝食は一日の活動のエネルギーとなりますので、早く起きて、しっかりと食べてから登校してほしいと思います。
- 早寝・早起きについては、毎回「できている」の評価が低いです。睡眠は、とても大切です。睡眠によって脳の疲れがとれますし、成長期の子ども達は寝ている間にたくさんの成長ホルモンが出て、体がしっかりとつくられています。今後も睡眠時間を大切にすること、身体の成長など健康面から、そして、気持ちの安定など精神面からも指導を続けていきます。お家でも、テレビやゲームをする時間を決めるなど、ご協力をお願いします。

自由記述欄に寄せられたご意見から（一部ご紹介します）

○学習・生活について

- 子どもが学校生活の中で、好きなことも苦手なことも共に経験できて、その中でたくさん成長しているなど感じています。
- 勉強も友人関係も、楽しく通えていると思います。
- 子どもの小さな成長にもしっかりと目を向けていただき、より子どもが自信を持って活動できるよう指導していただいていることに感謝します。
- 毎日楽しく学校に行っています。体調が少し悪くても、休みたくないと言うほど学校が好きみたいです。
- 宿題があると家庭学習をしますが、ない時や土日は全くしないので、中学に向けて取り組んでもらいたいと思います。
- 高学年になり、学校での出来事を話してくれる機会が減りました。友達との関わり合いの中で悩みがあっても、自分で解決しようとギリギリまで我慢しているところがある気がします。あまり話したがらない時もありますが、親子の会話を大切にていきたいと思います。

*子ども達は、学校生活の中でたくさんの経験をします。うれしいことや得意なこともあります、苦手なことや興味のないこともあるかと思います。でも、やりたいことだけをやるのではなく、苦手なことに挑戦してできるようになることや、興味がないことも経験してみることで、興味が広がったり自分の力が伸びたりすることがあります。友達との関わりの中で、頑張れることもたくさんあります。色々なことを通して、子ども達は成長していきます。お家でも、そんなお子さんを支えてあげてください。

*宿題があると勉強するけれど、というのは、たくさんの保護者の方の悩みかと思います。今年のチャレンジ体験に来てくれた中学生が、「中学校では、教科によって担当の先生が違います。自分で復習をしておかないと、試験の時など大変です。」という内容の話をしてくれました。小学校でも、宿題だけでなく、自主的に学習をする習慣がつくように取り組んでいます。

○地域について

・学校の行事やふれあいまつり等の地域の行事では、積極的に行事に関わり支える地域の方々、保護者の方々のパワーを感じます。地域の方々の力の大きいところが、翔鸞小学校の特徴だと感じます。

*地域の方々、保護者の方々の支えが大きいと感謝しています。たくさんの行事を計画したり、学習の支援をしたりと、日頃からたくさん支えていただいている。

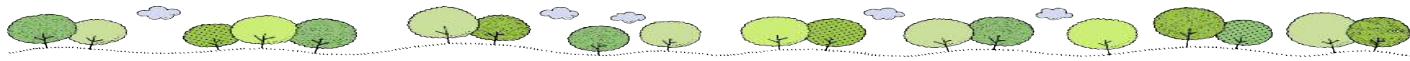
○学校の取組について

・学校のHPを楽しみにしていますが、なかなか更新されない日々が続く時があり残念です。普段の学習の様子や学校の取組など、出来るだけ載せていただけたらと思います。

*今年度は、昨年度に比べるとHPの更新が少なかったです。申し訳ありませんでした。できるだけ更新していくようにします。

・チャレンジマラソンの会場が、賀茂川から学校グラウンドに変わったのは残念である。京都ならではの美しい景観の中、自己のペースで走る貴重な機会であったと思う。授業時間の確保が他で可能なら、再会できたらと思います。

*賀茂川の河川敷を走るのは大変気持ちがよく、子ども達に経験させたいという思いはあります。ただ、1時間程で終わる行事のために午前中の時間全てを使うこと、バスの予約が以前より難しくなり、特に予備日の予約はできないこと、河川敷を団体で使用することへの制約が大きくなってきたこと等、色々なことを考慮して校内で実施することにしました。昨年も、雨天の場合は校内で実施する予定でした。実際に今年度実施してみると、走っている間ずっと応援の声が聞こえてきたことで、頑張って走れたという児童がたくさんいました。



《学校運営協議会委員の皆様からのご意見》

○学校訪問の折、廊下などですれ違う児童は、嬉しそうな顔で「こんにちは」と、声に出して挨拶。子ども達の自主性を感じています。

○通学時は「安全に気をつけて」登下校しているようですが、一旦下校した後に遊びに行くための自転車の運転では、道路の真ん中を通行したり、交差点で停止しなかったりと、気の緩みが気掛かりです。

○信号等、交通ルールを守っています。

○「学校だより」が毎月全世帯に発信されています。特に裏面は、学校の取組や地域との連携活動が手に取るように伝わってきます。

○地域との連携がより密になる為に、保幼小中連携活動がより多くなればと期待しています。互いの理解が大切です。

○授業を見ていて、自分の意見や考えを発表する子が増えてきました。

○色々な考え方の人と交流して、自分の考えを広げてほしいです。

○机上の学習だけでなく、生活経験の中での学習も大切にしてほしいです。